



DXのための第1歩はあなたが決め手!! ITスキルアップ研修

DXを推進するには、どうしてもITに対する深い知識を持った人材やプログラミングができる人材が求められがちです。しかし、IT業界においても人材が不足している現状、ITを業種としない会社にIT人材が在籍していないというのは珍しくない状況で大きな課題となっています。

今後ますます企業として成長を続けていくためにはDXは不可欠となるでしょう。そんな中でまず進められるのが現場の非IT人材でもDXに取り組める仕組みを作ることが挙げられます。

お悩み
ケース

1

データ修正にかかる手間を減らしたい

- ・デジタルデータとして共有利用するために既存資料を直さなければならないが、手間がかかる。
- ・フォーマットを作る人間にデータベース思考がないため、扱いづらいデータ資料が新たに作られる。



早速DX!!

Point

【今求められる資料作成】

紙で見やすいよう作成→機械判読可能なデータとして作成

出典) 総務省: 統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法 (P.20) https://www.soumu.go.jp/main_content/000723626.pdf

修正前

紙面に収めるために表を折り返している

	給与所得者数					年間月平均	給与所得者数					年間月平均
	3月末	6月末	9月末	12月末	千人		3月末	6月末	9月末	12月末	千人	
平成13年分	58902	59915	59773	59354	59731	59731	64179	64205	64024	63957	64016	64016
平成14年分	59307	59919	59930	59189	59334	59334	64165	65209	64444	64611	64611	64611
平成15年分	59169	59169	59169	59169	59169	59169	63710	63710	63710	63710	63710	63710
平成16年分	59344	59344	59344	59344	59344	59344	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成17年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成18年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成19年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成20年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成21年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成22年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成23年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成24年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成25年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成26年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成27年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成28年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成29年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成30年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024
平成31年分	59304	59304	59304	59304	59304	59304	63154	63200	63045	63024	63024	63024

修正後



収録範囲を1つにした状態

		給与所得者数				
		3月末	6月末	9月末	12月末	年間月平均
		千人	千人	千人	千人	千人
1995年	平成7年分	55982	55935	55673	55354	55736
1996年	平成8年分	55987	56009	56038	55923	56189
}						
2017年	平成29年分	71117	71248	69960	69730	70513
2018年	平成30年分	73579	73081	71131	70937	72181

紙面に収めるために表を折り返しているため、正確な計算や並べ替えなどできない場合がある。

収録範囲を1つにし、データが分断されないようにすることで正確な計算や並べ替えが容易になる。

おすすめ
講座

【Excel業務改善コース】6時間

作業効率を上げる操作方法、データベースにとって扱いやすいExcelデータの作成方法を習得。

1日速修で
Levelup



お悩み
ケース

2

前任者が作った資料が壊れても直せない

- ・前任者から引き継いだ資料の関数やマクロを直せず、毎回「できる人」に頼んで手が塞がる。
- ・直すより新たに作った方が早いし確かだ。結果、前任者が築いた「効率化」がなかったことになる。



早速DX!!

Point

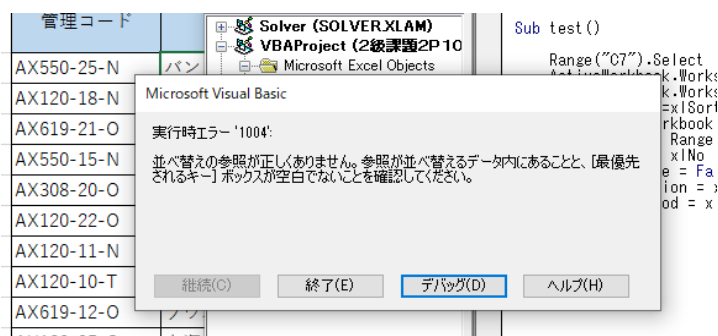
【今求められるスキル】

関数・グラフ・マクロ → 一部の人のみではなく、**だれもが直すことができるスキルを持つ**

数式のエラー

管理コード	到着地	予約数 (人)	出発日前 日数(日)	出発日前 区分	受付方法	割引
AX550-25-N	#REF!	25	14	#REF!	#REF!	#REF!
AX120-18-N	#REF!	18	3	#REF!	#REF!	#REF!
AX619-21-O	#REF!	21	5	#REF!	#REF!	#REF!
AX550-15-N	#REF!	15	11	#REF!	#REF!	#REF!
AX308-20-O	#REF!	20	32	#REF!	#REF!	#REF!
AX120-22-O	#REF!	22	4	#REF!	#REF!	#REF!
AX120-11-N	#REF!	11	6	#REF!	#REF!	#REF!
AX120-10-T	#REF!	10	12	#REF!	#REF!	#REF!
AX619-12-O	#REF!	12	5	#REF!	#REF!	#REF!

マクロのエラー



「数式のエラー理由が分からないから手入力する」というのはまだ良い例。一番良くないのは新たに一から表を作ること。以前より効率化できるのであれば問題はないが、大抵は効率化とは程遠く、データ処理の面でも使いづらい資料に取って代わられる。

おすすめ
講座①

【Excel関数活用コース】6時間

関数の作り方、エラーの直し方、状況にあった関数の選び方を習得。関数の組み合わせを学習することで実務に活かす。

1日速修で
Levelup

おすすめ
講座②

【Excelグラフ活用コース】3～6時間

グラフの作り方、直し方、グラフが作成しやすい表の作り方を習得。

半日から
取り組める

おすすめ
講座③

【マクロ/VBA習得コース】12時間

マクロの作成、修正方法、エラーの起こりにくいマクロの作り方を習得。業務頻度の多い作業、時間のかかる作業を自動化。

しっかり
基礎から

ご希望・ご要望に合わせて
カスタマイズ可能だから
無理なく身につけられる

会社でまとめて必要となる内容を従業員教育として行いたい。
時間がないので、1日速修で実施したい。
何日かに分けて午前中だけまたは午後だけ行いたい。
複数の講座を組み合わせ、業務上必要とされる内容だけ習得したい。